

2023年9月15日
公益社団法人日本語教育学会

2023年度日本語教育学会春季大会
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 選考対象者数^{※1}

13名

2. 授賞者

<口頭発表>

授賞者：岩下智彦（電気通信大学大学院生）

発表題目：自然言語処理を用いた例文生成とその妥当性

—日本語教師の支援を目的としたBERT・T5を用いた文生成シミュレーション—

〔共同発表者：吉原将大氏（東北大学）〕

<ポスター発表>

授賞者：俵加奈子（お茶の水女子大学大学院生）

発表題目：日本語教師養成講座の教育実習での実習生の意識変容における講師の役割

※1 大会での筆頭発表者のうち、本賞の[表彰規程](#)で定める「若手」に当たる者（有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した者）を選考対象といたしました。

<連絡先>

公益社団法人日本語教育学会（大会担当）

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

E-mail: taikai-office@nkg.or.jp

2023年度春季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

本賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰するものです。

<口頭発表>

授賞者：岩下智彦（電気通信大学大学院生）

発表題目：自然言語処理を用いた例文生成とその妥当性

—日本語教師の支援を目的とした BERT・T5 を用いた文生成シミュレーション—

〔共同発表者：吉原将大氏（東北大学）〕

【授賞理由】

本研究は、自然言語処理の技術を用いた例文生成器の開発と、生成された例文の妥当性の検証を目的としたもので、AI を例文生成に応用しようとしている点で独自性があると評価された。本研究では、生成された例文で正しいと評価されたものは約 60%であり、実用化に向けては例文生成器に改善の余地があるとしているが、将来的には教師の授業準備の支援につながる意義深い研究である。本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である岩下智彦氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

<ポスター発表>

授賞者：俵加奈子（お茶の水女子大学大学院生）

発表題目：日本語教師養成講座の教育実習での実習生の意識変容における講師の役割

【授賞理由】

本研究は、日本語教師養成講座の実習生に半構造化インタビューを実施し、実習生の意識変容に影響を与えた講師の行動について分析したものである。養成講座の講師の役割に焦点を当てた研究は希少で、オリジナリティーがあると評価された。また、調査対象者も多く（25名）、年代が多様であり（30～60代）、そのような調査から導き出された結論は今後の教員養成の在り方に示唆を与えるものとなっている。本発表は、大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である俵加奈子氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

以上